

令和5年10月10日

芦屋市 企画部 市長公室
市民参画・協働推進課
課長 小川 智瑞子 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしや NPO センター
事務局長 橋野 浩美

災害時対応セミナー報告書

- 1 日 時：9月16日(土)、23日(土・祝)、30日(土) 10:00～12:00
- 2 会 場：リードあしや 会議室C・D・オープンスペース1
- 3 担 当：橋野・金子
- 4 参加者：41名(講師含む)
- 5 講 師：樋口貴洋氏(神戸消防局消防局 東灘消防署)
藤井智生氏(生活協同組合コープこうべ 広報部)
津久井進氏(兵庫県弁護士会 弁護士)

6 事業詳細

- (1) 目 的：災害発生時から災害後の対応方法をカードゲームから学び、備える術を考える。
- (2) 内 容：すべてのセミナーにおいて、カードを使い、グループワークを行った。
9/16(土)災害協力シミュレーションゲームダイレクトロード(神戸消防局提供)
・ダイレクトロードとは、各自が持つ情報を共有して統合し、全体像を把握していくカードゲーム型の防災訓練教材である。海辺の町の設定で、地震直後から津波がくる想定で疑似体験した。
9/23(土・祝)得する防災～災害食は日常食～
・被災時に健康的に過ごすための食を学びながら、普段常備している食材から調理し、食するまでを体験。ポリ袋調理で、栄養バランスも考えご飯を炊き、鯖缶でカレーを作った。カードを使い、栄養素を学んだ。
9/30(土)被災者生活再建カード～被災者支援制度を知ろう～(長野海弁護士提供)
・防災基本計画の話から、災害後から自立・再建までのマネジメントの事例、被災者生活再建カードを使っでの制度の内容や、制度がどの場合に使えるのかを疑似体験をした。

7 振り返り

- ・疑似体験の中で、コミュニケーションの大切さを再確認できたと感じた。グル

ープワークをへて、伝える事、聞く事の重要性、近隣との連携等の必要性を認識できたようだ。普段からの情報力がいろいろな事を左右することを実感した。現場での優先順位や情報の有無で状況も変わるとアンケートから読み取れ、地域での学ぶ場が必要だと感じた。

- ・ 時期が防災やイベントのシーズンだったために広報が難しかった。来年度は、次期や広報場所など再検討する。

8 2023年度災害時対応セミナー記録 (YouTube)

- ① ダイレクトロード海辺の町編 <https://youtu.be/Fvn0i4hIu7E>
- ② 災害食は日常食 <https://youtu.be/e--Tfok-NPI>
- ③ 被災者支援制度を知ろう https://youtu.be/O_Yesdrf41c
- ④ 2023年度災害時対応セミナーダイジェスト版 https://youtu.be/mAfy_8EqLi8

第1回



第2回



第3回

